

皆様、こんにちは。ナターリャ・アブレウと申します。現在、ミナス・ジェライス州のベロ・オリゾンテ市にある私の母校東洋文化学院で日本語を教えています。私は2012年9月に、国際交流基金の海外日本語教師長期研修プログラムに参加させていただきました。



世界中から集まった56人の若い日本語教師と共に、六ヶ月間で日本語や日本の文化などを深く学ばせていただきました。その間、日本語や教授法についてたくさん知識を得ることができました。そのときのことを今振り返ってみると、私たちの日本語能力は気づかぬうちに大変伸びたんだなあと感じることができます。

この度のプログラムのおかげで日本語の知識を深めることだけではなく、海外ではなかなかできない日本文化と日本の社会を身近に体験することができました。日本の伝統的な芸能を見たり、有名などころに行ったり、日本の歴史について勉強したりしました。また、毎日いろいろな文化関係の人々と一緒に生活して、人間関係に掛け替えのない「尊敬」という言葉の意味が改めて分かりました。帰国後、今でも世界中の友達や国際交流基金の親切な先生方とスタッフの方々とメールのやり取りをして、楽しかった6ヶ月間を思い出し、気持ちを新たに頑張っています。

私は国際交流基金のプログラムのおかげで、教師としてだけでなく、人間として成長できたなあと今改めて感じています。この度のプログラムにまだ参加する機会を得ていない方々には、是非お勧めします。これからは以前より日本の美しい言葉と文化を学生や同僚たちに伝えていけるのを楽しみにしています。今もセンターでの勉強や世界中の研修生たちとの散歩が楽しく思い出されます。

今、新たに日本語を勉強し教師になってよかったと心から思っています。

ナターリャ・アブレウ